

●作戦会議

文字数が少なすぎて、文章作成力が問われる難問になっている。1種の過去問を見ていると、昔は文字数に制限がなく、標準解答も問題文と関係ない文章を入れていたりした。おそらくそのせいで「電験の論説は、知っていることをすべて書いて部分点をもらおう」という主張が広まったのだろう。

しかし最近では明らかにトレンドが変わり、簡潔で的を射た解答をしてほしいという出題者のねらいが見て取れる。論説は知識の自慢大会ではない。「**問題文をよく読んで**、答えてほしい内容を理解し、それを知っているならば解答する。」というのが論説問題の基本となる。世間でよく言われる、コミュニケーション能力が問われる。

(1)単独運転がどういった際に起きるのか (**When**)、またその目的は何なのか (**Why**) が問われている。単独運転とはどういうものなのか、またはその防止法といったことは問われていない。たとえ文字数制限がなかったとしても解答しないように。

すぐに復旧できる目処があるならば、発電機をトリップさせてまた再起動するのがもったいない、てか面倒というのが本音。それをもとに解答を作成する。

(2)「～への影響に注意して制御する」というのが解答のテンプレートとなる。50文字程度なので、キーワードを入れつつ1文で解答するように心がける。



●解答

(1)単独運転は、系統側で事故が生じ、系統から切り離された際に実施される。系統事故時でも所内での運転を継続し、系統復旧時に再起動せずに素早く連系して通常運転に戻ることが目的としている。(89文字)

(2)

○ボイラ設備

蒸気流量・圧力増加や、タンクの温度上昇によって設備を損傷させないように、燃料系のシステムを適切に制御する。(53文字)

○タービン設備

温度上昇によってタービン室やその排気側の設備を損傷させないように、蒸気温度を適切な値に制御する。(48文字)

○電気設備

所内負荷の運転を継続するために、周波数及び電圧が定格付近で安定するように制御する。(40文字)

●参考

1)「これも知っておきたい電気技術者の基本知識」.テーマ7.大嶋輝夫・山崎靖雄 共著.電気書院

